

原子力発電技術フォーラム訪中団

期間:2011年4月3日(日)~4月9日(土) (7日間)

— 参加者募集のご案内 —

N u c l e a r 2 0 1 1

The 9th China International Exhibition
On Nuclear Power Industry 2011

第九届中国国际核电工业展览会

2011/4/6-8 中国深圳・深圳会展中心

主办单位: 中国核能行业协会

第1回 日中原子力発電技術フォーラム
(2011年4月8日(金)深圳において)

- 主 催: 一般社団法人日本技術者連盟
国際原子力発電技術移転機構
- 後 援: 社団法人日本原子力産業協会
特定非営利活動法人日本保全学会
- 協 力: 日本テピア株式会社 日中経済・技術交流センター
- 取扱旅行社: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル
- 総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構(ATTO)

“原子力発電技術フォーラム訪中国”参加のおすすめ

中国の原子力発電基本計画と位置付けられている「原子力発電中長期発展計画(2005～2020年)」において2020年の開発目標として掲げられた4000万kWの上方修正が具体化してきました。一方で、人材の不足や原子力発電設備の製造能力、据付能力、研究開発・設計能力の不足を指摘する声があがってきています。

本連盟では、2010年12月「原子力発電ビジネス訪中産業技術フォーラム」を中国に派遣致しました。

2011年4月6日から8日まで深圳において、中国核能行業協会主催による“Nuclear Power Industry Exhibition”が開催されます。この展示会は2年に1回開催される中国で最大の原子力イベントで、中国国内はもとより世界各国から原子力関係者が一堂に会します。

本連盟は、この機会に第2次訪中団として、上海、深圳の原子力関連機関及び、企業の訪問と併せて、中国核能行業協会と協力して、4月8日深圳において「日中原子力発電技術フォーラム」を開催することと致しました。同フォーラムを通じて日本の最新の技術・知見について紹介するだけでなく、中国の現状ならびに課題について発表をいただき日中間の交流を深めることは、原子力安全の確保に貢献することはもちろん、中国市場への足がかりになるものと期待されます。



ご挨拶

佐々木 宜彦 氏

一般社団法人日本技術者連盟
国際原子力発電技術移転機構 委員長
(財団法人発電設備技術検査協会 理事長)

国際原子力発電技術移転機構が中心となり、国際的な原子力発電人材育成に加え、原子力発電プラント輸出戦略にも大きな影響を及ぼすことが確実な中国の原子力発電開発に焦点をあてた原子力発電技術フォーラムを中国で開催する事は日中双方にとって誠に時宜を得ていると思います。

本旨をご理解の上、関係者のご賛同を賜ります様
お願い申し上げます。



団長・コーディネーター

榎本 聰明 氏

東京電力株式会社 顧問 工学博士
社団法人海外電力調査会 前会長

1965年 東京大学工学部原子力工学科卒業
1965年 東京電力株式会社入社
1983年 原子力建設部原子力計画課長
1984～1988年 東京大学工学部非常勤講師
1990～1991年 東京大学工学部非常勤講師
1995年 柏崎刈羽原子力発電所長
1997年 取締役原子力副本部長
1999年 常務取締役原子力本部長
2002年 取締役副社長(原子力本部長)
2004年 社団法人海外電力調査会会長 工学博士

日中原子力発電技術フォーラム 技術発表テーマ募集内容

(Japan/China Joint Forum on Nuclear Power Generation)

発表テーマ(案)

技術フォーラムにて技術発表を希望される参加者は下記の発表募集テーマ一覧を参考にしてお申込下さい。

テキストの使用言語及び発表言語は日本語とします。質疑応答は日本語・中国語逐次通訳となります。

1. 原子力発電所の運転・保守技術の向上
2. 原子力発電所の経年管理
3. 原子力発電所の耐震設計(柏崎・刈羽の経験)
4. 将来型炉(中小型炉、先進的軽水炉、高速増殖炉、高温ガス炉)
5. 使用済み燃料及び放射性廃棄物の管理・輸送・貯蔵
6. 原子力人材育成の課題と見直し
7. その他(ご発表希望のテーマをご記入下さい)

日中原子力発電技術フォーラム 発表者留意事項

1. 参加者の技術論文発表の時間は逐次通訳を含め、30～40分前後とします。
2. 参加者の発表される技術論文は3月18日(金)までに総合事務局宛、電子ファイルでお送り下さい。
3. 中国核能行業協会共催の技術フォーラムにて使用されるスライドは各自ご持参して頂くと共に、事前に総合事務局まで電子ファイルでお送り下さい。(発表会場にはプロジェクター・スクリーン等準備しています)
4. 今回の技術フォーラム当日参加者は中国核能行業協会の関係する政府役人、団体会員、企業会員、個人会員が多数出席の予定です。

訪問先概要

①上海核工程研究設計院（上海）

同研究院の前身は、1970年に設立された728工程研究設計院で、2007年に中国核工業集团公司から国家核電力技術公司の傘下に移った。主要業務は、原子力発電プロジェクトの研究・設計である。同院は現在、「AP1000」プロジェクトの工事設計や大型先進PWR発電所国家重大プロジェクト(CAP炉、140万kW・170万kW)の研究開発に参画しているほか、パキスタンのチャシュマ原子力発電所Ⅱ期の設計・技術サービスなどを担当している。

②上海電気（上海）

上海電気集団傘下には、発電所、送電・配電、重工、軌道交通、工作機械、環境保護、エレベータ、印刷機械などの企業集団がある。同社は、工事設計、製品開発、設備製造、などを主要業務とし、プラント設備の供給、工事の一括請負等の総合的なサービスを提供している。

このうち、上海電気重工集団は原子炉設備の製造能力を有する企業グループである同社はこれまでに、秦山Ⅰ期の蒸気発生器、加圧器、チャシュマ発電所の蒸気発生器と加圧器、清華大学の高温ガス炉実験炉の圧力容器、秦山Ⅱ期の蒸気発生器、加圧器、圧力容器、炉内構造物を供給した。傘下に以下の子会社5社を抱えている。

- ・上海重型機器廠有限公司 ・上海電気核電設備有限公司 ・上海第一工作機械有限公司
- ・上海クレーン運輸機械廠有限公司 ・上海電気核電裝備技術有限公司

③深圳中広核工程設計有限公司（深圳）

広東核電傘下の設計院で、CPR炉をはじめとした炉の設計・開発を担当している。

④中科華核電技術研究院有限公司（深圳）

広東核電傘下の技術センター的性格を持つ企業で、原子力発電関連基礎技術研究・応用技術研究・技術サポートサービスを担当している。保全技術の開発なども行っている。

第9回 原子力産業中国国際展示会

The 9th China International Exhibition on Nuclear Power Industry 2011

・ Nuclear 2011（2011年4月6日（水）～2011年4月8日（金））

原子力産業展示会は、複雑な産業財の製造、あるいは、放射線の安全性の保証等、広範囲な技術、サービス提供携わる外国企業が、その技術、サービス、製品の優位性を誇示し、マーケティングするための専門イベントです。

この展示会は、原子力サービス関連市場に於いて、製品、サービス提供する企業並びに、核原料並びに核技術を使用する企業の更なる市場開拓が目的で開催されます。

- ・ 来場者のプロフィール：原子力産業、プロセスモデリング、原子力発電所の制御、絶縁材料、放射線遮断材料、放射線コントロール機器分野の専門家並びに、原子力産業に参入し、新材料、新機器、技術開発に携わる専門家
- ・ 出展者のプロフィール：出展者は、原子力産業で、材料、機器、プロセスモデリング、原子力発電所の制御、絶縁材料、放射線遮断材料、放射線コントロール機器の製造、サービス企業並びに、原子力産業に参入し、新材料、新機器、技術開発にかかわる企業。
- ・ 詳細は <http://www.china-nea.cn/cienpi.htm> をご参照下さい。

原子力発電技術フォーラム 日程

日程：2011年4月3日（日）～4月9日（土）

※訪問先、発着時間、交通手段等は都合により変更する場合がございますので、予めご了承ください。
※飛行機はエコノミークラスを利用します。

| 行程 | 日程 | 都市 | 交通手段 | 時間 | スケジュール | 宿泊ホテル | 食事 |
|----|------------|--------------------------------------|----------------|---------------------------------|--|--------------------------|---------------------|
| 1 | 4/3 (日) | 東京(羽田)発 上海(虹橋)着 | MU538 専用バス | 13:30 16:10 | 中国東方航空にて上海へ 到着後、ホテルへ | ルネッサンス 中山公園 | 昼 機内食 夕 ○ |
| 2 | 4/4 (月) | 上海滞在 | 専用バス | | ・上海核工程研究設計院 ・上海電気 ・夜 懇親会開催 | ルネッサンス 中山公園 | 朝 ホテル 昼 ○ 夕 ○ |
| 3 | 4/5 (火) | 上海(虹橋)発 深圳着 | MU5323 専用バス | 9:30 11:50 | 移動 | 富臨大酒店 (フェリシティ ホテル) | 朝 ホテル 昼 ○ 夕 ○ |
| 4 | 4/6 (水) | 深圳滞在 | 専用バス | | ・Nuclear 2011展示会見学 | 富臨大酒店 (フェリシティ ホテル) | 朝 ホテル 昼 × 夕 ○ |
| 5 | 4/7 (木) | 深圳滞在 | 専用バス | | ・深圳中広核工程設計有限公司 ・中科華核電技術研究院 | 富臨大酒店 (フェリシティ ホテル) | 朝 ホテル 昼 ○ 夕 ○ |
| 6 | 4/8 (金) | 深圳滞在 | 専用バス | | ・原子力発電技術フォーラム開催 (中国核能行業協会と共催) ・夜:懇親会開催 | 富臨大酒店 (フェリシティ ホテル) | 朝 ホテル 昼 ○ 夕 ○ |
| 7 | 4/9 (土) | 深圳発 上海(浦東)着 上海(浦東)発 東京(成田)着 | MU719 MU521 | 8:05 10:20 12:00 16:00 | 中国東方航空にて上海(浦東)空港へ 上海(浦東)空港出発 東京国際空港(成田)到着後解散 | | 朝 ホテル 昼 機内食 |

原子力発電技術フォーラム訪中団 募集要項

- 調査期間 : 2011年4月3日(日)～4月9日(土) 7日間
- 団長・コーディネーター : 榎本 聡明 氏
(東京電力株式会社 顧問、社団法人海外電力調査会 前会長)
- 通訳者(日⇄中) : ベテラン適任者
中国国内滞在中の全行程に同行致します。
- 添乗員 : 添乗員は全行程同行致します。
- 論文発表 : テキストの使用言語及び発表言語は日本語とします。
質疑応答は日本語・中国語逐次通訳となります。
- 参加費 : ¥630,000(消費税込)
※詳細は以下をご参照ください。
- ホテル : 原則的に一人部屋
- 募集人員 : 20名(最低人数15名)
- 申込締切 : 2011年3月10日(木)

参加費に含まれるもの

- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
- ・ 燃油特別付加運賃、空港税など
- ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、
一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・ 運営業務費(プログラム企画・運営費、団長・コーディネーター、
通訳、添乗員同行費)
- ・ 訪問先関係費、報告書作成費など事前研修費
(資料費、会場費、講師費など)
- ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、
列車代、チップ代など)
- ・ 手荷物運搬料金(移動時の運搬料、ホテルのポータレージ代など)
- ・ 通訳料(技術フォーラム当日の逐次通訳)
- ・ 技術論文配布テキスト費用(印刷代)
- ・ 技術フォーラム会場・運営諸費用
- ・ 現地招待者懇親会費用
- ・ 帰国報告会費用
- ・ Nuclear 2011視察費用

参加費に含まれないもの

- ・ 各社技術フォーラム論文作成に伴う諸費用
- ・ 渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金など)
- ・ 個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップなど)
- ・ 集合時及び解散後の交通費
- ・ 超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 障害・疾病に関する医療費

取り消し料金

- ・ 実施日から起算し、さかのぼって30日以降3日まで : 費用の20%
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって2日前以降 : 費用の50%
- ・ 実施日以降の不参加は、全額申し受けません。

『国際原子力発電技術移転機構』委員長・顧問・委員リスト

| | | |
|-----------|--------|---|
| 委員長 | 佐々木 宜彦 | 財団法人発電設備技術検査協会 理事長 |
| 顧問 (順不同) | 野々内 隆 | 財団法人経済産業調査会 理事長 |
| | 逢坂 國一 | 社団法人日本電気技術者協会 会長 |
| | 荒井 利治 | 前社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長 (株式会社日立製作所 名誉顧問) |
| | 宅間 正夫 | 社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長 |
| 委員 (五十音順) | 池本 一郎 | 財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学) |
| | 石塚 昶雄 | 社団法人日本原子力産業協会 常務理事 |
| | 小川 順子 | 東京都市大学 准教授/女性研究者支援室長 WIN-Japan会長 |
| | 金氏 顯 | 社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事 |
| | 河原 暲 | 元社団法人日本原子力学会 会長 |
| | 佐川 渉 | 社団法人日本技術士会 理事・広報戦略特別委員会委員長 技術士 工学博士 |
| | 関村 直人 | 東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 |
| | 津山 雅樹 | 社団法人日本電機工業会 原子力部長 |
| | 当麻 純一 | 社団法人土木学会 原子力土木委員会 幹事長 (財団法人電力中央研究所 知的財産センター所長 参事 工学博士) |
| | 富岡 義博 | 電気事業連合会 原子力部長 |
| | 新田 隆司 | 日本原子力発電株式会社 常務取締役 |
| | 藤井 靖彦 | 東京工業大学名誉教授 工学博士 |
| | 宮野 廣 | 特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問 法政大学客員教授 |
| | 諸葛 宗男 | 東京大学公共政策大学院 特任教授 |

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL : 03-6229-1950 URL : <http://www.atto-asia.jp>

お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又は郵送でお送り下さい。